

進路先が多様なため一斉指導ができない ツール活用で誰もが進路を熟慮できる環境に

つるがけひ
敦賀気比高校 (福井・私立)

【活用キーワード】 >> 年間計画 学校調べ

キャリアエデュケーションの流れ

進学コース、教養コースのみ実施。週1コマ。1学年と2学年は共通のプログラム、3学年では進学希望者と就職希望者で違うプログラムになる。

1・2学年のプログラム (一部省略)

【1学年】

- オリエンテーション
- 着こなし講座
- スタディサプリ適性診断
- 講話
- 適性診断の解説・振り返り
- 『未来事典DREAM』DVDとワークシート活用
- 『仕事・学問BOOK』とワークシート活用
- スタディサプリ仕事編(1~4)
- 講話
- インタビュー職業人
- 合格体験発表会
- 講話
- スタディサプリ学校編
- スタディサプリ仕事編
- 1年間を振り返って

【2学年】

- オリエンテーション
- スタディサプリ適性診断for『進学事典』
- 『進学事典』を活用したパンフレット請求
- スタディサプリ仕事編(プレゼン練習)
- 『進学事典 分野選びBOOK』
- 『進学事典 学校&学部研究BOOK』
- 『進学事典』自己理解・学校探しワークシート
- 『進学事典』学校詳細比較ワークシート
- オープンキャンパス
- スタディサプリ経済編(1~4)
- スタディサプリ仕事編
- スタディサプリ社会編
- コミュニケーションスキルズ
- 合格体験発表会
- 修学旅行事前研修
- 自己実現のためのライフプラン
- スタディサプリ学校編
- 修学旅行体験発表会
- 事後レポート作成

『進学事典』の活用

今年度から新たに『進学事典』の活用時期を早く、2学年の最初に取り組むことにした。スタディサプリ適性診断、『進学事典 分野選びBook』、『進学事典 学校&学部研究Book』を付属のワークシートを使って進めていく。次に『進学事典』を読み興味のある学校からパンフレットを取り寄せて学校を比較。それを踏まえて、夏のオープンキャンパスに参加する。こうして、以前は漠然と選んでいたオープンキャンパスに目的をもたせる。なお、同校の生徒は希望進路を決める時期にもかなりの違いがある。山形先生のクラスでは、2学年の初めに既に希望が固まっている生徒のみPCルームに移動して、希望進路についての研究を深める学習に変えた。スタンダードな進路学習はワークシートにほぼ任せられることができるので、このような個別対応が可能になったと言う。

取材・文／永井ミカ

課題

難関大学進学から就職まで
進路も学力も多様なため
一斉の進路指導ができない

敦賀気比高校では、生徒は入学時より3つのコースに分かれて学ぶ。特別進学コースは難関大学合格を目指すクラスから成り、ICT教育や高大連携の活動も充実。進学コースは大学進学から専門学校進学まで幅広い進路を目指す生徒が集まる。教養コースの生徒も進学から就職まで進路は多様だ。また、進学と教養の2コースには野球やサッカーをはじめ強豪の部に所属する生徒も在籍しており、学園敷地内の寮で生活する生徒も多い。

「総合的な学習の時間は、ほぼすべて進路学習に充てるといのが本校の長年の姿勢です。しかし、進路が多様なためプログラム作りには苦労してきました」と言うのは1学年主任の上窪秀明先生。特に、初めから大学進学を目指す生徒と、進学が就職で迷う生徒、または今は部活一筋とい

活用

3年間を通しての
プログラムの活用で
今やるべきことが見える

上窪先生は以前進路指導部長を務めていたときに、特別進学コースと、進学コース・教養コースの進路学習を分け、後者の進路学習「キャリアエデュケーション」において、スタディサプリの進路支援のツールを中心に使った取り組みを実践することにしました。

さまざまな人の話を聞いて視野を広げ、進学が就職かを決め、オープンキャンパスやインターシップを経て、進路実現へという大きな流れは変わらない。しかし、スタディサプリのプログラム導入で、「世の中に存在する仕事や学問の種類を学びながら、広い視野をもち可能性を探っていく。そのうえで志望を明確にして自分の言葉

で志望理由書を書いたり面接で語れるようにする」と、進路学習の流れの意味が具体的になった。またこの学習を通して、社会で必要とされる力を身に付けることも目指せる。

「以前は単発的な取り組みもありましたが、現在ではどの進路を目指す生徒であっても、今何をやるべきかが明確に見え、将来へ向けて順を追って考えやすくなっています」と上窪先生。「基本的には、動画や講演や冊子で学びワークシートに取り組むという作業の繰り返しですが、それがシンプルでわかりやすいです。生徒は積極的に取り組んでいます」と2学年担任の山形由香里先生も続ける。

これからの課題は、コースや進路がバラバラでも個々が目標をもち、進路と学習を効果的に結びつけていけること。そして日々の授業に主体的に取り組むこと。これまで何年間も試行錯誤していた志望理由書やポートフォリオ作成のためのツールにも期待しているそうだ。



1学年主任
上窪秀明先生(右)
2学年担任
山形由香里先生(左)

School Data

1986年創立／普通科／生徒数685人(男子398人・女子287人)／進路状況(2017年3月実績)大学102人・短大16人・専門学校54人・就職48人・その他9人